



第7回 PHR協会 講演会

～ 個人健康管理基盤としての
PHRの在り方と活用への期待 ～

平成31年

2/27 水

13:00 ▶ 17:00

会場 一般財団法人 高度技術社会推進協会 TEPIAホール

参加費 事前申込 3,000 円 当日受付 5,000 円 (PHR協会会員 無料)

医療情報技師更新ポイント 申請中

日本医師会認定産業医研修会 申請中

我が国は高齢化社会を迎え、労働者人口の減少などによる定年延長が影響し疾病を有して働く労働者が増加しています。その対策として「治療と仕事の両立支援」を効果的に実行し、健康寿命を延長することが求められます。健康寿命の延長には、国民ひとり一人が自分の健康づくりに関心を持ち、健康および健診情報を日頃から活用し行動変容まで導くことが重要です。今回メインテーマを「個人健康管理基盤としてのPHRの在り方と活用への期待」とし現在、厚生労働省をはじめとする政府各省庁でのメインの施策とされている「がんと就業の両立支援」及び「データヘルスとコラボヘルス」などの運用の現状と今後の進め方について各機関のご報告をいたします。

60分 【特別講演】

01

13:10
?
14:10

日本における「がんと就労の両立支援」活動の現状とこれから
国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策情報センター
がんサバイバーシップ支援部長

高橋 都 先生

75分 【国民の健康づくりに関わる最近の動き】

02

14:10
?
15:00

日立健康保険組合におけるデータヘルスとコラボヘルスの現状と今後
日立健康保険組合 担当部長

根岸 正治 様

15:00 netPDIによる健康情報のネットワーク連携とその事例
PHR協会理事
15:25 アレイ株式会社 代表取締役社長

阿部 聡

休憩 20分

65分 【ラウンドテーブル】 全講演者 参加

03

保健医療連携のニーズとPHRの活用のための課題

司会

日本IHE協会代表理事 PHR協会理事
埼玉メディカルセンター 放射線治療科
診療部長

安藤 裕

15:45
?
16:00

01

ふくおか健康づくり県民会議の現状報告
PHR協会代表理事
福岡産業保健総合支援センター 所長

織田 進

16:00
?
16:50

02

治療と仕事の両立支援や国民の健康づくりのために、個人の健康・診療情報などの収集及びその活用方法について、各講師から意見をいただきます。

お申込み方法は裏面へ！

先端技術館 @TEPIA

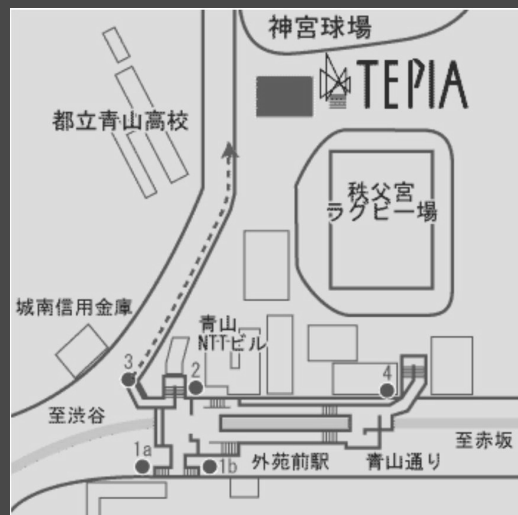
一般財団法人 高度技術社会推進協会

〒107-0061
東京都港区北青山2丁目8番44号
TEL 03-5474-6111

会場案内

都営大江戸線
国立競技場駅から徒歩11分
または青山1丁目駅から徒歩9分

東京メトロ銀座線
外苑前駅3番出口から徒歩4分
JR千駄ヶ谷駅、または信濃町駅から徒歩14分



参加ご希望の方は、以下のURLまたは、QRコードにアクセスし、PHR協会講演会申込画面からお申込み下さい。

<http://www.phrj.org/archives/440>

検索



事前申込の締め切りは
2019年2月18日月曜日です。

QRコード

お申し込みは、クレジット・コンビニ・ペイジーの決済による事前のお支払いをお願いします。
事前申込の参加費用は3000円（当日受付は5000円）、PHR協会会員は無料です。

事前のお申し込みの方のみ当日に資料をお渡しいたします。

当日受付の方の資料は後日郵送致しますので、ご了承下さい。

※ PHR協会名による領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

※ 医療情報技師更新ポイントが必要な方は、医療情報技師登録ナンバーをご用意ください。

連絡先



一般社団法人 PHR協会 PHR協会事務局

E-mail

info@phrj.org

Fax

045-517-3246